



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1011 2020.09.30 (水)

2020~21年度 RI 会長 ホルガー クナーク

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

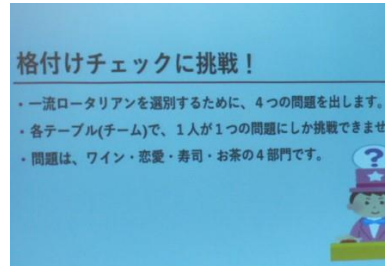
会長挨拶

山口勝義

先週土曜日9月26日にオンラインにてRLIパートIIが開催されました。当クラブからは、運営側にRLI運営副委員長・進行役として中村会員、テクニカルコーディネーター青木会員、委員・ディスカッションリーダーとして安間みち子会員、受講者は古川会員、影山忠弘会員、私山口と5名が参加しました。45分間を6セッションの受講で幅広く多くを学べたことはもとより、オンライン開催となったことにより、物理的な会場までの移動やセッション毎の会場移動もなくなり、また、対面による感染対策等も不要で安心感もあり、多くのメリットを感じる事が出来ました。さらに充実した運営の可能性も感じる事が出来ました。当クラブでも、長い目でオンラインの活用を進められればと思います。

今年の十五夜は明日10月1日だそうです。十五夜は”中秋の名月とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があります。かつて使われていた旧暦では、秋の真ん中は8月さらに8月の真ん中、15日ごろが”中秋の名月”です。現在の新暦は旧暦と1~2か月のずれがあるため、「9月7日から10月8日の間で、満月が出る日」を十五夜としています。十五夜の月見が盛んになったのは、平安時代、月を見ながら酒を酌み交わし、船の上で詩歌や管弦に親しむ風流な催しだったそうです。貴族たちは空を見上げて月を眺めるのではなく、水面や盃の酒に映った月を愛でました。庶民も広く十五夜を楽しむようになったのは、江戸時代に入ってからだといわれます。貴族のようにただ月を眺めるのではなく、収穫祭や初穂祭の意味合いが大きかったようです。十五夜のころは稲が育ち、間もなく収穫が始まる時期。無事に収穫できる喜びを分かち合い、感謝する日でもありました。ということです。様々な制限のある環境下ではありますが、今年度3ヶ月間何とか無事にクラブ運営もなされ、皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございます。

例年夏にグランドホテルさんが催していましたサマーフェスティバルが本年は開催されず、それに代えて予定していました「ロータリー格付けチェック」を延期していましたが、ようやく開催の運びとなりました。当初本日は親睦例会「月見の宴」開催の予定でもあり、重ねての親睦例会となっています。是非、2倍の親睦が図れますよう楽しい交流の場としていきましょう。本日もよろしく願いいたします。



前年度 地区米山記念奨学
委員長 影山忠弘会員に奨
学会からの感謝状を贈呈↓



極上白ワインは、赤ワインのような味？↑



↑親睦委員
の安間俊樹・佐藤
司会
央恭会員に感謝!



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp